



全国私教連養護教職員連絡会 ニュース

2017年7月発行 第5号



今年も夏も猛暑だそうです。養護教職員のみなさまは、いかがお過ごしでしょうか。

日本でも、異常気象のため自然災害の危険がいつ起こるかわからない状況です。このたびの大雨で災害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。私たち養護教職員は、日ごろから子どもの命と健康を守るという仕事に携わり、労働安全衛生活動にも関わり、教職員の健康問題でも相談を受けたり健康管理にかかわる立場にあります。短い夏休み期間中は、どうかご自身の心身を休めて、新学期へのエネルギーを充填されるとよいですね。

全私研 17 分科会（体育・食・健康教育）を復活！

17 分科会「体育・健康教育」は、体育科の運営委員が決まらず 2 年間休会となっていました。

そこで、名称を「体育・食・健康教育」として、体育科と栄養教員や養護教職員と一緒に運営することで再開することになりました。2017 年度の運営委員は、養護教員の荒井（大宮開成中高）と若杉（東海大仰星）が担当します。開催地が山口県の湯田温泉ですから、中国・四国・九州の養護教諭の皆様と沢山出会えたらよいなあと考えています。

11 月は、文部科学省と文教担当国会議員への要請を行います。

これまで 3 度 文部科学省の私学担当者に「交渉」を行ってきましたが、現実的に何も前には進めていない現状です。そこで、3 月に世話人で相談した結果、「懇談会」という形式にして、私学における養護教諭の必要性について、本音の部分を聞き出していきたいとの話になりました。昨年度に取り組んだアンケートにあった養護教諭の生の声をできるだけ多く文部科学省に伝えたいと考えています。ご意見などいただけたら助かります。

3 月 東京私教連で養護教諭交流会を行いました

3 月 5 日に東京私教連にて養護教職員交流会を行いました。参加者は 4 名と少なかったのですが、40 歳代の養護教諭が「生徒獲得のために管理職が生徒や保護者にこびている現状。教育者としてどうなのか。養護教諭の業務以外に生徒募集担当を任せられており、ほとんど休めない。片手がマヒしてきてこの働き方に疑問がある。」などの切実な思いがだされました。

養護教職員も多忙化が進む中で大変ですが、少人数であっても交流会の企画を継続していこうということになりました。学習会テーマなどは、アンケートのご意見を参考にして決めていく予定です。

当面の日程（予定）

- 7 月 29 日（土）30 日（日）「保健室からの発信 in 東京」全教養護教員部夏の学習交流集会
- 7 月 29 日（土）～31 日（月）湯田山口全私研
- 8 月 5 日・6 日 全国養護教諭サークル（岡山県）
- 8 月 18 日（金）～20 日（日）全教 全国教育のつどい（岡山県）
- 11 月 13 日（月）文部科学省との懇談、国会議員文教委員要請
- 1 月 7・8 日全国青年協議会 ウィンターセミナー in 仙台
- 3 月 日程未定 東京私教連 養護教職員交流会（全教会館）

全国養護教諭アンケートにご協力ありがとうございました！

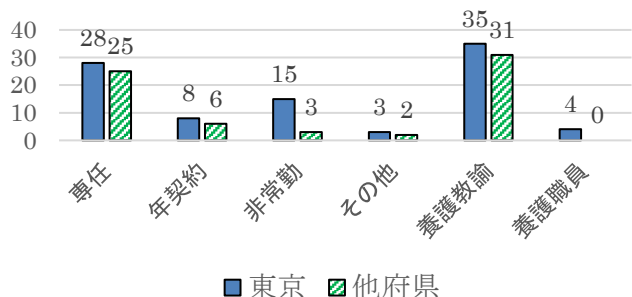
2016年度秋から養護教職員アンケート調査に東京私教連と全国私学でも取り組みました。回収率は決して高いとはいえませんが、2015年度全国調査より東京での協力数は7校から25校と大幅に増えました。

養護教諭の配置は、専任を複数配置している学校は少なく、常勤や非常勤の待遇で時間や曜日を限定した複数体制にしている学校が多いです。また、東京の特徴として、平日に「研修日」が位置づけられ養護教諭不在時の対応として「非常勤」が配置されています。その場合「看護師」が非常勤や嘱託の待遇である場合も多いようです。以前から東京では、複数の看護師がシフトで配置されており、看護師の数が多いのだということがわかりました。保健室での関りは、教育的な仕事です。養護教諭の仕事への理解がまだまだ遅れているという現状が分かります。曜日や時間帯で人が変わると生徒の情報共有にも支障があります。養護教諭が常時勤務する専任の教育職であることの意味をもっと強く訴える必要があります。

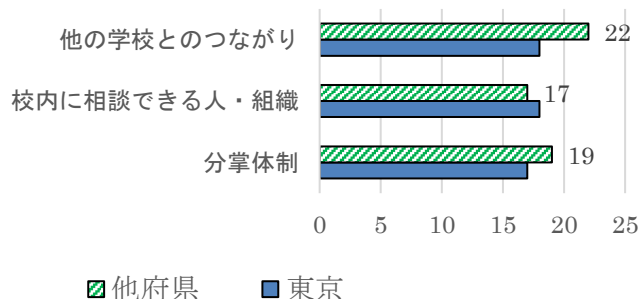
2016年度 養護教諭アンケート調査 集計数 47

東京都 23校 (小学校1、中学部1、中高14、高校7) 、他府県 24校 (中高 高校)

養護教職員の配置



東京と他府県比較



困っていること

- ・ 保健室登校の人数多くスペースが足りない。
- ・ 曜日や時間により養教が一人に対応するので病院受診の際に付き添うのが難しいことがある。(学校に残っている生徒、保健室登校生徒の対応等)
- ・ メンタルでの頻回来室や不登校保健室登校生徒への関わり方 教職員の健康管理業務をどこまでするか？
- ・ SCの時間が少ない 発達障害の生徒理解 生徒が多い時や一気に来た時に病気の見落としなどが無いか心配
- ・ 閉室時の保健室登校対応 保健室担任医療機関の連携
- ・ 心身症生徒増加でベッド足りない 心因性の身体症状での来室多いがチームで対応できていない。
- ・ 保健室登校学習支援が組織的に行われていない 保健室登校が複数になった時の対応
- ・ 共働きの家庭が多くなかなか家庭と連絡がとれないこと いじめ自殺不登校などの対策予防方法
- ・ 精神疾患をもつ生徒が増えたと感じる 学校で対応しきえないが増えている
- ・ 親子のクレーム多い 保護者対応 校内連携 保健室登校生徒

待遇面

- ・ 二名体制(専任2名)にしてほしい。宿泊行事の引率、その前後の勤務も休めないの外部委託を検討してほしい。
- ・ 休憩とれない休みにくい席はずせない 常勤の先生だとありがたい
- ・ 常任2名配置希望。人数の多さで昼食をとることもできない日が多い。常時複数だといい。
- ・ 生徒数に対して専任が少ない。生徒数からいくと専任2名他常勤講師が必要。派遣ではなく直接雇用にしてほしい。
- ・ 相談できる相手はいますがやはり孤独です。ひとり職種の難しさを日々感じています
- ・ 嘱託の勤務時間を減らされること 部活がさかんになったら複数体制
- ・ 土日部活出張があっても振り替え休日をとれない 保健室を閉められないこと
- ・ 今産休代替で勤務。臨時特別教諭で賞与がない。専任2名必要だが実現しない。
- ・ 養教の俸給表が別で1万円少ない。
- ・ 年契約の方は3年上限 継続の場合は6か月開けないといけない。メンバーを変えずにやっていきたい。
- ・ 朝7時30分～昼休みなく毎日19時近くまで勤務時間長い 責任も重い。できれば常勤2名体制にしてほしい。

学びたいこと

- ・ 運動器検診について 保護者のクレーム対応について テーピング 不登校児の対応
- ・ 保健室登校 勇気づけ 健康診断 ネット依存 起立性調節障害
- ・ 心の病気と適切に関わっていくには 危機管理 事後措置 発達障がい
- ・ 宿泊行事の食物アレルギー対応 保健委員会活動
- ・ おしゃれ障害・新型インフルエンザ・災害と学校
- ・ 学校保健委員会の活動事例 発達小阿木で進路変更が必要な生徒への支援例
- ・ 発達障害(事例研究)子どもの心と身体の状態が深刻化している実態
- ・ 救急体制 発達障がい LGBT 体罰 スーパーバイザーを交えた事例検討

